

「妙高市民の心」優良取組事例集

花いっぱいである地域づくり
ハッピーフラワーズ（本田北部町内会）

<活動の概要>

地域の子ども会の親子と一緒に、「小出雲十字路（本田北部）近くの花壇の整備」「小出雲十字路付近の街路樹下の花壇づくりと草取り」「公民館やゴミ集積所のプランターの花植え」などを長年にわたり実施しています。

季節ごとに花を植えることで、1年を通して美しい花々の影観が地域の皆さんの目を楽しませるほか、地域の子ども達との親睦も図っています。



親子で草取り

花壇づくりを通して、子ども達や地域の皆さんと交流し、明るい環境づくりをすることができました。

<活動の様子>



作業前の様子



だんだん、きれいになりました



この草どこに運ぶ

世代を超えて繋がりをもてるみんなの居場所
あいあう食堂

<活動の概要>

新井南小学校区を対象に2017年9月から月1回(1~2月は雪が多いためお休み)子ども食堂を開催しています。現在は新型コロナウイルス感染症流行のため食堂は休止中ですが、緊急事態宣言による休校期間にはお弁当の配達も実施しました。

2019年12月から市内全域を対象としたフードシェアリング部を結成し、あいあう食堂に寄付していただいた食品を必要としている家庭へお届けする活動に取り組んでいます。

未就学児、小学生、中学生、高校生、大学生さらに最年長は80代の方まで参加する年代の幅広さが特色の一つです。また、運営についてもサポーターは妙高市内外から集まっています。様々な背景を持つ人が集まり、それぞれの視点から気づいたことを持ち寄って運営に反映していくこともあいあう食堂の活動の特色です。



フードシェアリング部の配達準備

子ども食堂には毎回約70名の参加があります。最近では新井高校社会科クラブ、上越教育大学と県立看護大学の学生さんからも参加していただいています。

受け取る側に喜んで頂き、また寄付する側の食品ロス削減にも役立つことができると考えています。

<活動の様子>



多世代の靴が並ぶ



あいあう食堂のごはん



参加者の様子



笹ヶ峰史跡の草刈り

特定非営利活動法人 妙高笹ヶ峰ファン倶楽部

<活動の概要>

2003年に有志十数名により、笹ヶ峰史跡の草刈りをボランティアで始め、同年9月にNPOに申請し、翌年6月に受理されました。その後は、毎年草刈りを行っています。

現在の会員は約30名で、賛助会員は全国に約80名おり、賛助会員は個人名でレンゲツツジの植樹も行っています。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、会員のみで行ったが、10年前より早稲田大学ワンダーフォーゲル部OB約10名、京都大学山岳部OB約10名とも共同で草刈りを行なっています。

その他、環境保全活動として、不法投棄撲滅のシールを会員全員の車両に貼ることで、不法投棄撲滅の啓発活動を行っています。また、森林管理署の依頼を受け、高山植物等の盗掘防止パトロール等も行っています。



県道沿いのレンゲツツジの植樹



早稲田大学OBと記念撮影



不法投棄防止ステッカーを車両に

<活動の様子>



県補助金で購入の草刈機と会員



草刈後の牛供養塔



消防団による環境整備活動（姫川原地区）
妙高市消防団 新井方面隊 第12分団

<活動の概要>

地区の現状に対して、団内でできることを協議して、環境整備活動に取り組んでいます。

姫川原地区の歩道橋は、小学生の通学路やお年寄りなど住民の通路ですが、小学生が枝をかき分けながら登校していたため、分団員で対応を検討し、歩行に支障が出ないように、階段部のこけ取りや周辺の草刈り、枝切作業を実施しました。

交通観音は、他地域にはない姫川原地区独自のものです。大雨になるとたびたび、水路から泥水が溢れ出ていたため、消防団の活動中にその様子を目撃した分団員が、何かできないかと協議をし、水路からあふれた砂・泥・ゴミを除去したり、草刈りを実施しています。

今回の活動で、歩道橋は住民の歩行の安全を確保し、交通観音前では、車・自転車等のスリップ事故が起こらないよう安全を確保することができました。また、安全祈願に訪れる参拝者も気持ちよくお参りできるようになりました。その他にも、避難所として使用する、姫川原コミュニティスポーツセンター体育館（旧姫川原小学校体育館）の清掃活動を年に4回程度実施しています。



交通観音前の草取り



旧姫川原小学校体育館の清掃

<活動の様子>



歩道橋の草刈り

